

モゲ散歩

2025年度前期

モゲ散歩 2025 年度前期日程 予定

- 4月 19 日 八丁堀近辺 集合:八丁堀
八丁堀同心邸跡 お岩稲荷田宮神社 日枝神社 など
- 4月 26 日 大山近辺 集合:大山
下頭橋と六蔵祠 安養院 天祖神社 など
- 5月 10 日 ときわ台近辺 集合:ときわ台
ときわ台住宅 清水稲荷神社 出井の泉 長徳寺など
- 5月 17 日 目白・池袋近辺 集合:目白
目白庭園 宮崎滔天邸 自由学園明日館 など
- 5月 24 日 中板橋近辺 集合:中板橋
氷川神社 日曜寺 板橋 板橋本宿跡 など
- 5月 31 日 板橋近辺 集合:板橋
旧中山道 東光寺 植村冒険館 加賀藩下屋敷跡など
- 6月 7 日 志村坂上近辺 集合:志村坂上
一里塚 延命寺 薬師の泉 小豆沢神社 龍福寺など
- 6月 14 日 十条近辺 集合:十条
十条富士神社 地福寺 若宮八幡神社 鳳生寺 など
- 9月 20 日 足利近辺 or 上野原近辺

- 前期の予定です
- 今回は小林さんの地元板橋区北区を中心に回ります
- 目白・池袋近辺は自由学園の見学可能日にあわせて変更あり
- 最終の9月20日は長旅ということで考えています
- 近藤さんの出身地足利を第一候補にしています
- 新宿から1時間半ほど
- もう一つの候補は上野原です
- 来週は八丁堀
- 集合時間を10時でお願いします

次回の集合場所

東京メトロ日比谷線八丁堀駅

※北千住行きに乗った場合最後尾に乗る

※解散は茅場町か日本橋です



地名を考える

村から街へ

- 郷が50軒の単位から始まったとお話ししました
- 50軒できっちりと分けるというのが難しくなる > 人がたくさんいる > 人が群れている > 群れ⇒村
- 村が生活の基本的な単位となっていく > 地名に
- 人が集まっていくと不規則に拡大していく
- それを整理する必要がある
- 田んぼの中の道を一つのポイントとして整理していく
- 町 > 田 + 丁 田んぼの中の道を現したという

村から街へ

- 田んぼの道をしっかりと作ってそれを勢力圏の境としていくようになった > 平城京や平安京もその例



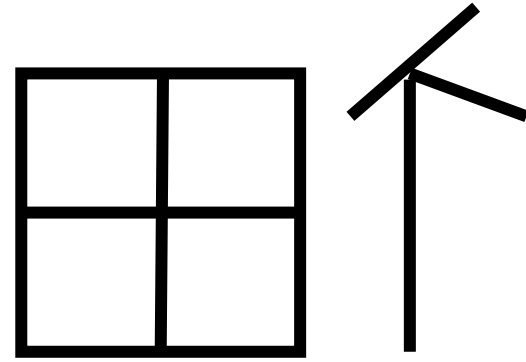
- 平城京の模型
- 一番奥が平城宮
- 平城京は役人だけの町ではない
- 手前には農家も見られる

村から街へ

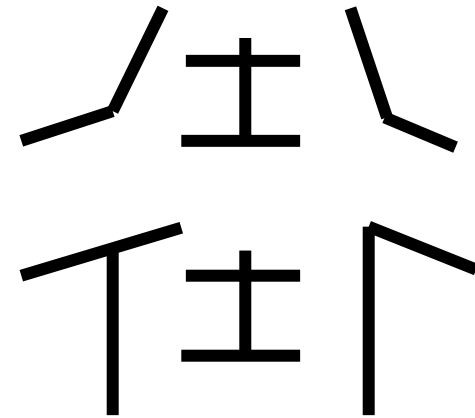
- 田んぼの道をしっかりと作ってそれを勢力圏の境としていくようになった > 平城京や平安京もその例
- 人がたくさん集まって出来上がった大きな村を町というようになっていく
- 街道に面した町には農家だけでなく職人が道具を売るようになりそれを目当てに人が集まり商店が出来上がっていく > 室町時代に定着
- 定期市が開催されるようになる > 五日市 八日町
- 信長の楽市楽座
- 町が大きくなって十字路が増えていく > 街

町と街

- 町 > 田んぼの区切り
- 島つ田を 十万知つくれる
- 「ま(間)」「ち(路)」
- 田と田の間のみちをあらわす
- 街 > 十字路がたくさんある
- 人がたくさん集まっている
- 室町時代から使われ始める



田んぼに
釘を打ち
込む



十字路が
たくさん
ある

崩れていく地名

- 明治時代になって版籍奉還・廃藩置県と改革が続く
- 3府302県が成立 > すぐに 3府72県に統合
- 1889年 市制町村制が施行 村: 300戸⇒500戸単位
- 全国で71314あった市町村が15820に減少
- ○○市△△町大字××字・・
- 1953年 町村合併促進法 8000人以下の町村を合併
- ○丁目△番地 制定 286市1966町7616村
- 1999～2010年 大合併 786市757町187村

地名の由来を考えてみよう

- 日本は四季に恵まれ様々な地形もあって変化に富む
- この状況が変化に富む地名を生み出していく
- 平坦な部分 平 八幡平  東平 
- 山や川 岳 峰 曲(隈) 千曲川 
- 浜や港、水 浦 米良 勝浦(和歌山県⇒千葉県)
- 崖など 大歩危・小歩危 
- 熊本県 八景水谷 
- 国境や里境 境港(伯耆の国と出雲の国の境)





中世になると人は何処に住むようになる？

- ① 平野の真ん中 ② 谷間 ③ 岡の上
- 理由は入口を守るだけで良いので
- 谷の真ん中は水が流れ魚が捕れる
- 水が得やすいので水田も作りやすい
- 近くの山からは薪が得られるし鳥獣の数も豊富
- 山田 小川 谷川 米田 森 林 森田 前田 中田
- 岸＞海岸、河岸を想起するが 実際は平地と山の境
- 岸田 岸川 > 山の出っ張りがあれば崎 山崎 宮崎

大坂町名小略
御田之圖



御城



西御丸

東耶之持圖也大小皆皆於
世不假金之手其甚美矣
予幸甚大看信有所憾焉
小者多遠國其州也德之
有我國之繁富得全
持其西僅國五之蓋利
而己然亦不少彈焉可憾焉
今之依其泰或新居則全
以轉其性氏方而書者街
名雖稱其神祠利橋架阪
者則意者不遠而已矣望
君之幸示焉
崇山敬恭



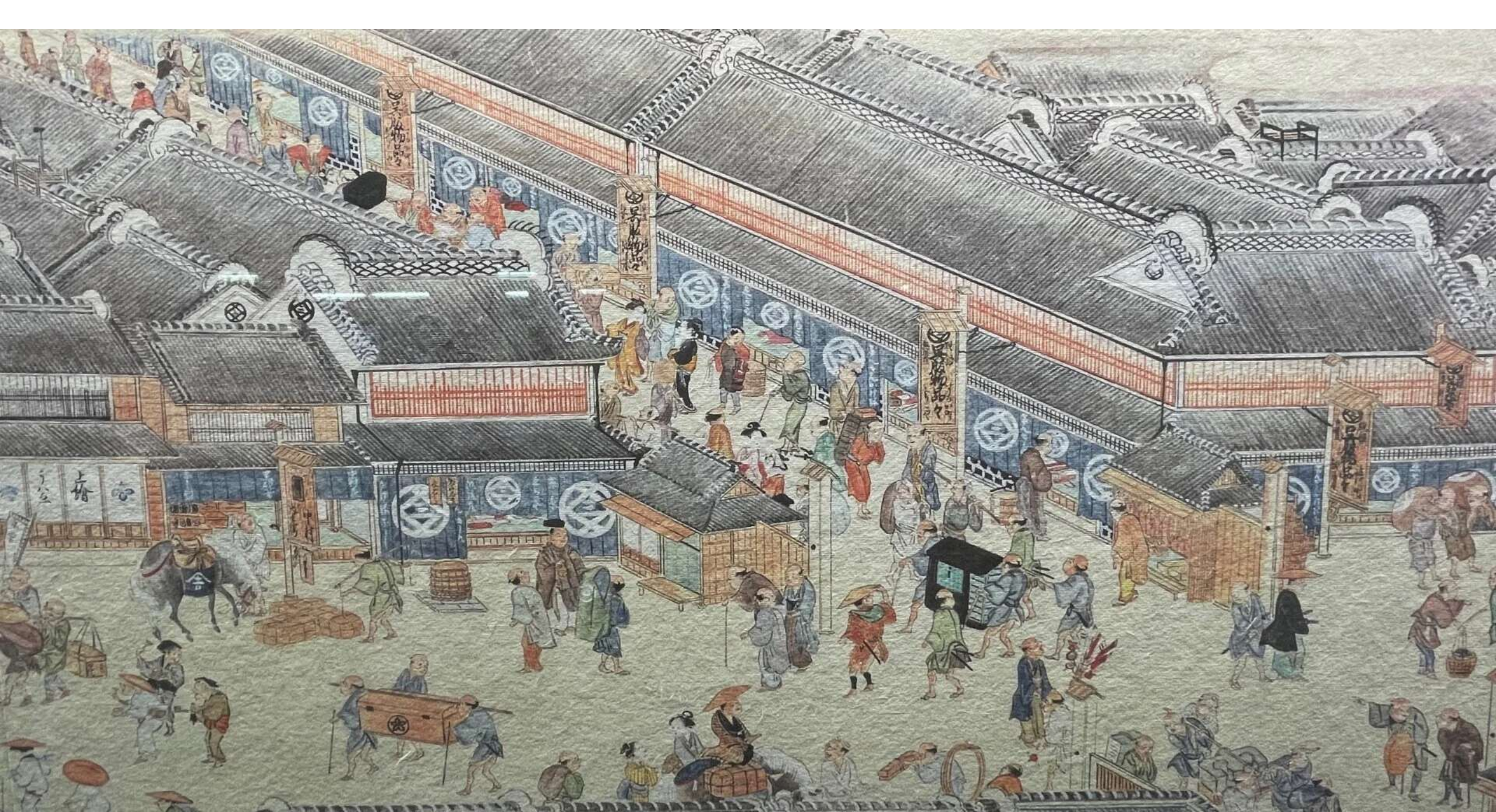
南繪圖













- 厠: 近郊農家が定期的に汲み取っていく
- 掃き溜め
- 井戸
- 紙屑屋
- 屑屋
- ぼて振り